

# 第43回山梨県消防団員操法大会



## 全員で達成 驚異的な41.93秒

9月9日 「第43回山梨県消防団員操法大会」が県消防学校（中央市）で行われ、「小型ポンプ操法の部」に出場した富沢3部の皆さんが、峡南広域行政組合中部消防署員の熱心な指導により、見事準優勝を納めました。

当日は、8チーム中の6番目に登場。開始から放水での的を倒すまでが41.93秒と驚異的なタイムをマークし、規律等の得点を含めた総合点で笛吹市に次いで準優勝に輝きました。



2番員：若林勇樹



指揮：望月 譲



3番員：横山和也



1番員：若林伸二



### プロフィール

南部町消防団富沢分団第3部部長 望月信広（もちづきのぶひろ）さん。

S44年12月4日生まれ。福士9652番地3。父・母・妻・子供3人の7人暮らし。身延高卒業後のH1年に東タイ株式会社入社。消防団へは翌H2年に入団し18年目を迎える。趣味はバイクや自転車に乗ること。



夜間、小雨降る中の練習

## 汗も 冷汗も流した そして輝く涙

富沢分団第3部部長の望月信広さんは、大会を振り返って「何も分からず不安だった。もっと部員を引っ張って行ければ良かった。でも、部員に支えられて素晴らしい成果が得られた。」  
「大会当日は、選手よりも僕のほうが緊張したかな？定がガタガタでしたよ。」  
「と。さらに、「誰が一番とかではなく、みんな本当に頑張ってくれた。僕が一番何も出来なかったな」と部員を労って笑う。「こんな小さな部でも一つの目標に、力を合せて立ち向かえば何でも出来るんです。」この感動は

忘れない。そして今回の部員・仲間を絶対に忘れない。」と、今度は男泣きする。気が優しく、涙もろい部長望月さんの肩の力が少し抜けたように伺えた。

## 責任感の集結

富沢3部は、御堂・向田地区の消防団で現在団員数は13名。その中の正選手と控え選手合わせて8名が、6月末から開始された練習に取り組んだ。練習は、仕事を終えてからナイターで行われ、雨天等の場合は体育館や役場の駐車場を利用して40日間繰り返された。また、選手以外の団員にOB団員が加わって地道な準備・機械器具の管理等を繰り返し行った。それぞれが責任を

持つて役割を果たした結果が、今回の好成績を生んだ。  
感動で流す涙、仲間を思い流す涙が、とても美しく感じられる操法大会だった。そんな団員達の使命は、これで終わったわけではなく、ずっと続いて行く。

今回の操法大会出場にあたり、地域消防活動とは別に3カ月間、普段の生活を犠牲にして一生懸命取り組んだ団員達が、素晴らしい成果を残した事を忘れないでください。  
また、団員達を快く送り出してくれた家族の皆さん、勤務先の皆さん、激励の足を運んでくれた方々、本当にありがとうございました。